

試験科目	出題意図
物理基礎	等加速度直線運動、仕事と力学的エネルギー、波の基本量と干渉、力のつり合いと振り子運動、直流回路における電圧・電流・電力およびジュール熱など、物理基礎の主要事項を関連付けて理解できているかを測る。さらに、図や文章から状況を的確に読み取り、適切な法則や関係式を選んで立式・計算し、得られた結果を数量的に判断できる力を確認する。
化学基礎	物質の構成と原子の構造に関する問題から、物質を化学的に理解しているかを確認する。化学結合、酸と塩基、酸化還元反応に関する問題から、物質の性質や変化を化学的に理解しているかを確認する。また、物質質量・濃度・反応に関する計算問題を通して物理量と化学量論の理解を確認する。
生物基礎	遺伝情報や細胞分裂、神経のはたらき、内分泌系のはたらき、免疫反応や抗体の特徴、アレルギー反応、環境と生態系の関連などの内容について、基本的な知識の理解やそれらを論理的に考察する力などを確認している。
物 理	運動と力学的エネルギー、反発係数を伴う運動、運動量保存則と弾性衝突、光の干渉と位相変化、キルヒホッフの法則を用いた電気回路など、物理で扱う主要事項を関連付けて理解できているかを測る。さらに、設定された物理現象を図や条件から整理し、必要な法則を適用して定量的に考察して計算結果の妥当性まで含めて考える力を確認する。
化 学	物質の状態に関する問題から、分子の状態に関する基礎的な理解を問う。化学反応と平衡に関する問題から、物質の状態と反応速度に関する理解を確認する。無機物質・有機化合物・高分子化合物について幅広い物質の構造と性質の理解を確認する。
生 物	生物の進化、細胞の構造や機能、代謝、PCR やクローニングなどの遺伝子操作、眼の構造や機能、神経と情報伝達、生態系とエネルギーなどの内容について、基本的及び総合的な知識や、それらを論理的に考察する能力や理解力などを確認している。
公 共	高等学校の「公共」で学ぶ内容について、基本的な理解の定着度をはかることを意図して作問を行った。出題範囲は、特定の分野に偏らないよう、自己理解、倫理・思想、文化、法律、政治、経済の基礎知識、国際社会の課題など、多様な領域から幅広く取り上げた。また、上記以外に図表を読み解く能力をはかることを意図した作問も行った。
英 語	設問は、大問 4 問(空所補充問題 2 問、読解問題 2 問)とした。空所補充問題では、英語による各種コミュニケーション活動(読む・書く・聞く・話す)に必要な、文法・語彙・表現等の基本的知識の定着を中心に確認した。読解問題では、大学での学修に資する読解力・思考力・表現力等を含む、総合的な英語力の習得状況を確認した。
数 学	高等学校の数学 I で学ぶ、数と式・二次関数・図形と計量・データの分析の各分野で、問題を解く過程において、基本的な概念の理解、数学的に表現・処理する力、論理的に考察する力、学んだ知識や技能を統合的・発展的に考察する力など幅広くみた。特に、二次関数や図形については、応用力・発展的に考察する力を見た。
国 語	言語を手掛かりとしながら、論理を丁寧にたどり、文章の内容を的確に読み取る力や思考力を確認する。各大問とも、漢字・語彙など基礎学力を問うものから文章全体を把握する読解力を問うものまで、多様な設問構成とした。なお、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高めるため、言語活動の場面を出題に取り入れた。